

名前 _____

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 週テストの復習用を解く	
② 授業用テキストを読み直す 太字になっている部分は書いて覚えるとよい。	
③ 宿題用テキストの基本問題A・基本問題B・復習問題を解く	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Aを解く	

発展メニュー (☆) …チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Bを解く	

担当より一言

今回は、動物とヒトのからだその1について学習しました。

今回のメインは動物の分類です。植物も同様ですが、大きな分類からそれぞれの特徴へとつなげて覚えていきましょう。

無脊椎動物については、入試で出題されるのはほとんどが節足動物です。軟体動物や棘皮動物については、こんな分け方もあるんだ、という程度で知っておけば十分です。

脊椎動物については細かく知っておく必要があります。5種類の動物について、進化の順番にあわせて呼吸器官、体温調節の仕方、うまれ方などがどこで区切られているのかを覚えましょう。各動物が何類になるかも、脊椎動物については間違えずに分類したいところです。間違いやすいものはテキストにまとめてありますが、読んで終わりにせず、動物名と何類かを並べて書き出して整理すると定着しやすくなります。

肉食動物と草食動物の違いは、“生き物は自分にとって都合のいい進化をしている”という事を念頭に理解していけば分かりにくい内容ではないでしょう。この箇所では肉食・草食動物の目のつき方について、それぞれの利点がかけられます。テキストの表現を参考にして記述できるようにしましょう。

ヒトの骨や感覚器官については、テストに出ることは比較的少ない部分です。他の部分の学習ができてから取り組むようにしましょう。